

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

アロン化成株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市長者原2丁目160番地の8

(3) 業種

1813 プラスチック継手製造業

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、令和3年度から令和5年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成26年度 (2014年)	令和 5年度 (2023年)	令和 3年度 (2021年)	令和 4年度 (2022年)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	6,507	3,400 47.8	2,815 56.7	2,019 69.0			
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0.54	0.54 0.0	0.54 0.0	0.54 0.0		100.0	100.0
一酸化二窒素	0.80	0.80 0.0	0.80 0.0	0.80 0.0		100.0	100.0
その他 温室効果ガス	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	6,508.34	3,401 47.7	2,816 56.7	2,020 69.0	0	0	0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 原単位は、機械設備を油圧機から電動機への更新等による省電力化を行っており使用電力量の大幅削減となり温室効果ガス削減効果は出ている。 令和3年度 2,816 t-co <sub>2</sub> ⇒ 2,039 t-co <sub>2</sub> -777 t-co <sub>2</sub> 但し 生産量 令和3年 3,370t(稼働率61.84%) ⇒2,405t (46.72%) -955t(-15.12%)						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**良品生産量 (t)**

※温室効果ガス削減計画書 目標年度 令和5年まで 原単位削減目標のため記載しています。

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成26年度 (2014年)	令和 5年度 (2023年)	令和 3年度 (2021年)	令和 4年度 (2022年)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	1.27	1.15 9.5	0.836 34.2	0.836 34.2		100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	4.219	4.219 0.0	4.219 0.0	4.219 0.0		100.0	100.0
一酸化二窒素	6.25	6.25 0.0	6.25 0.0	6.25 0.0		100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	11.74	11.62 1.0	11.30 3.7	11.31 3.7		100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.442	0.402 9.1	0.394 10.9	0.396 10.5		100.0	100.0
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 原単位は、生産設備を油圧機から電動機への更新等による省電力化を行っている。 設備稼働率 61.84%(令和3年) ⇒ 46.72%(令和4年) ▲15.12%低下。生産量が 3,370t(令和3年) ⇒ 2,415t(令和4年) ▲955t(▲28.34%) 減少したため 温室効果ガス排出原単位が改善できませんでした。また中国電力(株)の温室効果ガス実排出係数【令和3年度0.000531→令和4年度0.000534と約0.5%増】していました。令和3年排出係数で計算した場合 エネルギー起源CO <sub>2</sub> 原単位は0.839となります。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	エネルギー原単位改善 ※現在提出している温室効果ガス減計画書は令和5年まで原単位削減を目標としているため	令和3年0.394→令和4年0.396 約0.5%増加	(1) 射出成形機電動機へ更新 油圧220t撤去1台⇒電動230tへ更新1台  (2) 油圧射出成形機撤去 油圧350t 3台、220t 1台、130t 1台
2	温室効果ガス排出量削減	令和3年2,815tCO <sub>2</sub> → 令和4年2,038t-CO <sub>2</sub> 約777t-CO <sub>2</sub> 削減	(3) 第二成形場 冷却水設備他 撤去 水冷チラー15kW 2台 送水ポンプ 11kW、7.5kW各1台他
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。